

3学年通信 第14号 令和4年11月18日 文責 今井

感動 最後の音楽会



紫苑祭で開催される予定だったの音楽会が先日の11月4日（金）に行われました。文化祭から遅れること登校日数にして25日。しかしその間に修学旅行あり、総合テストあり、さらにコロナ禍の中、遠慮しつつ歌う環境とあいまって、思った以上に練習する時間はなく、音楽会当日を迎えました。最後の音楽会、なんとしても3年生のプライドのかけて聞き手に感動を与える合唱にしたい。その願いが見事にかなった音楽



会でした。2組の「友～旅立ちの時～」。そして1組の「虹」。全校で聴き合う音楽会は、いつ以来でしょうか。心にしみる歌声でした。そして最後は3学年合唱「言葉にすれば」。本当に短い練習で、当日の朝、そして給食の後、ぎりぎりまで練習した思いは、素晴らしい響きになって体育館に広がりました。今までの全てが思い起こされ、目頭が熱くなる思いでした。「さあ聞こえる今すぐ新たな未来がめぐり逢うー。」

後期人権月間が終わる

10月5日から始まった後期人権月間は11月9日を持って終わりにになりました。3年生にとっては義務教育最後の人権学習です。そこで学習したのは、2年生の後期から学び始めた「部落差別」についてです。特に3年生は身近な問題になり得る「結婚差別」について学習を深めました。最初は昨年学習を振り返ると共に、明治以降の解放運動に触れ、日本初の人権宣言にもなる、水平社人権宣言について学びました。しかしそこに出てきた結婚差別などは、まだ遠い昔のここのように思えました。そこで結婚について「理想の結婚カード」で相手に求める条件を考えてみました。すると親の立場になった時、出身地、家柄、学歴や地位などの条件が上がってくる可能性があることを実感しました。さらに人権教材のVTR「関わらないが一番・それ本当？」で、結婚相手が被差別部落出身とわかると理不尽な理由で猛反対する親や親族が出てくるドラマを見ました。そして「ドキュメンタリー結婚」で実名で登場するドキュメンタリーを見ました。この差別にどのように向き合っていくべきか、資料「寝た子を起こすな」や、令和2年の「人権に関する県民意識調査」で、家の人から反対されたらどうするか問いに、結婚しないや分からないが約50%もいる現状を踏まえ考えてもらいました。最後に元武石地区の解放子とも会の指導をされた竹内秀行先生に講演をしていただき、差別を学ぶ尊さについてお話をいただきました。ここで学んだことが生きた力となって、子どもたちの人権が尊重されることを強く確信します。

<学習カードから>

もし自分が被差別部落出身だったら、相手に話すことができるか分からない。言ったとしても相手になんと言われるか分からない。だから僕は「関わらないが一番・それ本当？」と今日の「ドキュメンタリー結婚」を見るまでは、被差別部落出身ということをお話しない方が良いと思っていた。でも、VTRを見て考えが変わった。絶対に話した方が良く考えるようになった。今日の映像にもあったけれど、話せば相手の親から何を言われるか分からない。でも言わないと苦しくなってしまう。それを勇気を持って言える人はすごいなと思った。

来週以降の予定

日	曜日	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	行事など
21	月	1	2	3	4	5	学	拡大自学タイム 教育相談① 進路希望調査配布
22	火	学	7	8	9	10	11	拡大自学タイム 教育相談②
23	水	勤労感謝の日						
24	木	テ	テ	テ	テ	テ		2学期期末テスト(第4回総合テスト)
25	金	20	21	22	25	生		生徒会立会演説・選挙
26	土							
27	日							
28	月	1	2	3	4	5		
29	火	6	7	8	9	11		進路希望調査締め切り
30	水	道	12	13	14	15		生徒集会
12/1	木	16	17	18	19	総	総	
12	金	20	21	22	23	25	学	

<連絡>

- ・12月8日(木)から実施の保護者懇談会日程が今月末日です。日程の確認をよろしくお願いします。また第4回総合テストの結果も、テスト終了後できるだけ早く「テスト記録表」でお知らせします。